



中間報告書

2018年度（第1四半期・第2四半期）

概況

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2018年度第2四半期連結累計期間の概要についてご報告申し上げます。

取締役会長 大宮英明

取締役社長 宮永俊一

1. 経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済は緩やかな拡大が続き、米国経済は通商政策に対する不透明感がある中でも好調を維持しており、新興国でも内需や輸出を中心に総じて底堅い拡大が続き、我が国経済についても、個人消費や設備投資の持ち直し、企業収益の改善が続いており、緩やかな回復基調が続き、

また、我が国経済についても、個人消費や設備投資の持ち直し、企業収益の改善が続いており、緩やかな回復基調が続き、

2. 連結経営成績の概要

このような中、当第2四半期連結累計期間の当社連結業績は、受注高が1兆5,618億円、売上収益は1兆8,720億円、事業利益は567億円、税引前四半期利益は651億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は254億円となりました。

当年度の中間配当金につきましては当第2四半期までの累計決算実績及び年間の業績見通しを考慮し、2018年10月31日の取締役会の決議により、1株につき65円の配当とし、2018年12月5日からお支払いを開始することとさせていただきます。

【連結受注高・売上収益・事業利益・親会社の所有者に帰属する四半期利益】

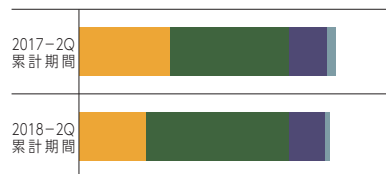
	2017年度 第2四半期累計期間 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	2018年度 第2四半期累計期間 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)	増減額
受注高	15,941億円	15,618億円	△ 323億円
売上収益	18,280億円	18,720億円	440億円
事業利益	194億円	567億円	373億円
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	△ 29億円	254億円	284億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

(注) 当社は2018年度第1四半期より国際会計基準 (IFRS) を任意適用しております。2017年度第2四半期及び年度末の金額についても、IFRSに準拠した数値を掲載しています。

部門別の概況

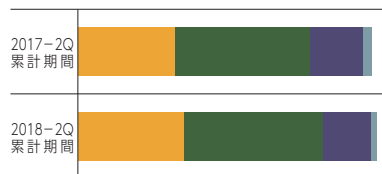
受注高 **15,618** 億円



(2017-2Q累計) (2018-2Q累計)

■ パワ	5,845億円	4,255億円
■ インダストリー&社会基盤	7,625億円	9,258億円
■ 航空・防衛・宇宙	2,463億円	2,255億円
■ その他	604億円	356億円
消去または共通	△ 597億円	△ 508億円

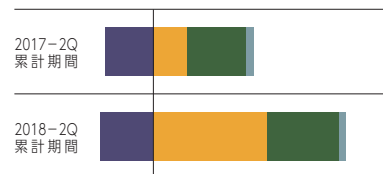
売上収益 **18,720** 億円



(2017-2Q累計) (2018-2Q累計)

■ パワ	6,237億円	6,808億円
■ インダストリー&社会基盤	8,710億円	8,982億円
■ 航空・防衛・宇宙	3,363億円	3,074億円
■ その他	606億円	342億円
消去または共通	△ 638億円	△ 488億円

事業利益 **567** 億円



(2017-2Q累計) (2018-2Q累計)

■ パワ	142億円	473億円
■ インダストリー&社会基盤	245億円	303億円
■ 航空・防衛・宇宙	△ 201億円	△ 221億円
■ その他	34億円	29億円
消去または共通	△ 26億円	△ 18億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

■ パワー

GTCC (Gas Turbine Combined Cycle) 及びスチームパワーが減少したことなどにより、前年同四半期を下回った。

■ インダストリー&社会基盤

製鉄機械、化学プラントが増加したほか、物流機器、冷熱製品、ターボチャージャ等の中量産品も堅調に増加したことにより、前年同四半期を上回った。

■ 航空・防衛・宇宙

防衛航空機等が増加したものの、民間航空機等が減少したことにより、前年同四半期を下回った。

■ パワー

原子力機器、GTCC、航空エンジン等が増加したことにより、前年同四半期を上回った。

■ インダストリー&社会基盤

化学プラント、交通システム等が減少したものの、製鉄機械や中量産品が増加したことにより、前年同四半期を上回った。

■ 航空・防衛・宇宙

飛しょう体や民間航空機が減少したことなどにより、前年同四半期を下回った。

■ パワー

原子力機器やGTCCの売上収益の増加等により、前年同四半期を上回った。

■ インダストリー&社会基盤

売上収益の増加に加え、商船の事業構造改善の効果等により、前年同四半期を上回った。

■ 航空・防衛・宇宙

民間航空機の売上収益の減少等により、前年同四半期を下回った。

四半期連結決算の概要

四半期連結財政状態計算書の要旨

(単位：億円)

資産の部	2017年度末 (2018年3月31日現在)	2018年度 第2四半期末 (2018年9月30日現在)
流動資産	32,409	32,424
現金・現金同等物	2,992	2,330
営業債権・その他債権	7,599	6,837
契約資産	7,447	7,365
棚卸資産	7,485	8,215
南アフリカプロジェクトに係る補償資産	4,459	4,975
その他	2,425	2,699
非流動資産	20,078	20,106
有形固定資産	7,731	7,766
その他の金融資産	4,850	5,078
その他	7,495	7,261
資産合計	52,487	52,530

負債及び資本の部	2017年度末 (2018年3月31日現在)	2018年度 第2四半期末 (2018年9月30日現在)
流動負債	26,515	26,318
社債・借入金及びその他の金融負債	5,175	6,108
営業債務・その他債務	8,011	7,408
契約負債	9,146	9,085
その他	4,181	3,715
非流動負債	9,033	8,771
社債・借入金及びその他の金融負債	6,561	6,004
その他	2,472	2,767
負債合計	35,548	35,090
親会社所有者持分	13,955	14,363
資本金・資本剰余金	4,515	4,514
利益剰余金	8,300	8,446
その他	1,139	1,401
非支配持分	2,983	3,077
資本合計	16,938	17,440
負債及び資本合計	52,487	52,530

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

	2017年度 第2四半期累計期間 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	2018年度 第2四半期累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上収益	18,280	18,720
売上原価	14,956	15,263
売上総利益	3,323	3,457
販売費及び一般管理費	2,615	2,614
持分法による投資利益	24	82
その他の収益	98	146
その他の費用	637	504
事業利益	194	567
金融収益	90	147
金融費用	70	63
税引前四半期利益	214	651
法人所得税費用	198	291
四半期利益	16	360
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△ 29	254
非支配持分	45	105

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

	2017年度 第2四半期累計期間 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	2018年度 第2四半期累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 631	△ 42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,195	△ 707
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,455	60
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	104	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 266	△ 662
現金及び現金同等物の期首残高	2,424	2,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,157	2,330

(2017年度第2四半期累計期間) (2018年度第2四半期累計期間)

(注1) 基本的1株当たり四半期利益
(親会社の所有者に帰属)

△8円88銭 75円97銭

(注2) 当社は2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式併合を行ったと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」を算出しています。

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

会社の概要

概要

社名 三菱重工業株式会社

本社※ 東京都港区港南二丁目16番5号
〒108-8215 電話番号：03-6716-3111
※当社は2019年1月1日付で下記に本社を
移転いたします。
東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
〒100-8332 電話番号：03-6275-6200

創立 1884年7月7日

設立 1950年1月11日

資本金 265,608百万円
(2018年9月30日現在)

従業員数 14,637名 連結：80,908名
(2018年9月30日現在)

ホームページ <https://www.mhi.com/jp>

役員

(2018年9月30日現在)

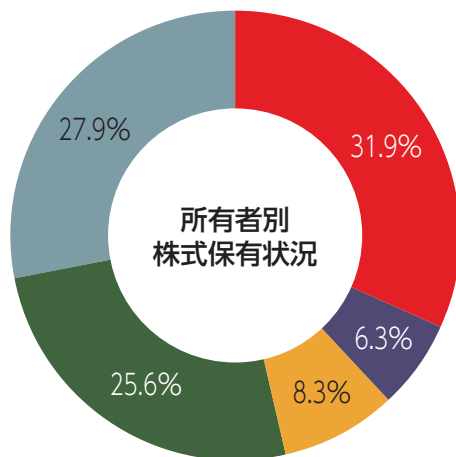
取締役会長	大宮英明
*取締役社長	宮永俊一
*取締役副社長執行役員	小口正範
*取締役常務執行役員	泉澤清次
取締役	篠原尚之
取締役	小林健
取締役 常勤監査等委員	後藤敏文
取締役 常勤監査等委員	加藤博樹
取締役 監査等委員	畔柳信雄
取締役 監査等委員	クリスティーナ・アメージャン
取締役 監査等委員	伊東信一郎

(*印は、代表取締役)

株式の状況

(2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	337,364,781株
株主数	260,705名



■ 金融機関
■ 証券会社
■ その他の法人
■ 外国法人等
■ 個人・団体等

最近の主なニュースとお知らせ

世界最大出力の洋上風力発電設備 V164-9.5MWを90基受注

MHIヴェスタス（三菱重工㈱）とデンマークのヴェスタス社の洋上風力発電設備（併合会社）は、英国東岸の北海洋上で進む86万kW級のトライトン・ノール洋上風力発電プロジェクト向けに、世界最大出力9,500kW級の洋上風力発電設備V164-9.5MWを90基受注しました。併せて5年間のサービス保守契約を締結、MHIヴェスタス設立以来、最大規模の受注となります。運転開始は2021年を予定しております。また、発電された電力は、英国家庭80万世帯以上の年間消費電力量を賄うことができます。今回の受注をさらなる弾みとして、一層の受注拡大をはかり、再生可能エネルギー由来電力設備の供給を通じた環境負荷低減に貢献していきます。



写真は英国パーボバンク洋上風力拡張プロジェクト

三菱造船 下関で太平洋フェリー向け大型フェリー 新「きたかみ」の命名・進水式を実施

三菱重工グループの三菱造船(株)は2018年7月4日、下関造船所にて太平洋フェリー(株)向けに建造中の大型フェリーの命名・進水式を行いました。本船は、仙台港～苫小牧港間の定期航路に就航する「きたかみ」の代替となるもので、在来船名を引き継ぎ「きたかみ」と名付けられました。「スペース トラベル」をデザインコンセプトに楽しい星空の旅を演出するとともに、在来船と比較し約10%の省エネルギーを実現しています。2019年1月の引渡し後は、苫小牧港と仙台港を結ぶ定期航路に就くことになっています。三菱造船(株)は、今後も輸送能力、居住快適性、及び燃費性能・環境性能に優れた貨客船や輸送船を建造することで、海上交通の活性化と環境保全に貢献していきます。



新「きたかみ」進水式の様子

MRJ初の飛行展示成功 ファンボローの空を舞う

7月16日～19日、英国で開催された「ファンボロー国際航空ショー2018」において、三菱航空機(株)は、エアショーで初となるMRJの飛行展示を実施しました。ローンチカスタマーである全日本空輸(株)様のカラーリングを施した飛行試験機3号機が、会场上空を約10分間飛行し、お客様からは「MRJの低騒音、高性能を実感できる素晴らしい飛行だった」とのコメントをいただきました。開発が順調に進んでいることをアピールできる絶好の機会となり、お客様やパートナー、その他多くの関係者の皆様とともに成功を祝いました。



● 当社施設の紹介 ●

三菱みなとみらい技術館へのご招待

明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らませる場となることを願い開設された三菱みなとみらい技術館は、おかげさまで本年9月に来館者300万人を達成いたしました。日常では触れる機会が少ない最先端の科学技術を参加型の展示や多彩なイベントプログラム、企画展とともに楽しくみください。

所在地: 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 三菱重工横浜ビル内
アクセス: みなとみらい線「みなとみらい」駅5番けやき通り口より徒歩3分
JR根岸線/横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩8分

開館時間: 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

(注) 2018年10月1日～2019年2月28日の平日は10:00から16:30まで (入館は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日 (火曜日が祝日の場合は翌日)、
年末年始 (2018年12月29日(土)～2019年1月4日(金)) 及び
特定休館日 (2019年2月12日(火)～23日(土))

お問い合わせ: 電話番号 045-200-7351

ホームページ: <https://www.mhi.com/minatomirai/>

臨時休館日、営業時間等についてはホームページ、お電話にてご確認ください。



三菱みなとみらい技術館ご招待券 見本

有効期限：2019年3月31日（お一人様一回）
本券をご持参ください。（同伴者3名様まで有効）
（本ご招待券で、有料体験プログラムをご利用いただくことはできません）

工場見学会のご案内

第29回工場見学会を下記のとおり広島製作所（広島県）で開催いたします。
多くの皆様のご応募をお待ちしております。

見学会概要

・見学場所 広島製作所（広島県広島市）

当製作所では、主に化学プラントで使用される遠心コンプレッサ及び駆動用タービンをはじめ、製鉄機械の圧延設備、更には民間旅客機ボーイング777の胴体パネル組立等、幅広い分野の製品を製作しています。今回は200トン級の重量製品を製作しているタービン・コンプレッサ工場と、最新鋭の自動化設備を導入した航空機工場をご覧いただき、『モノづくり現場』の迫力と繊細な製造工程をお伝えします。

- ・実施日時 2019年3月8日（金） 12：30～17：00（予定）
- ・対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）
- ・集合・解散 JR広島駅（予定）
- ・参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）



応募要領

- ・応募方法 インターネットまたは郵便はがきによるご応募をお願いいたします。

インターネットの場合

右記QRコードまたはURL (<https://www.mhi.com/jp/finance/individual/kojo/>) より応募フォームにアクセスの上、必要事項をご入力ください。

郵便はがきの場合

右記のとおり郵便はがきに必要事項をご記入の上、ご応募ください。

- ・締切日 2019年1月6日（日）（はがきの場合は当日消印有効）
- ・募集人数 80名様（同伴者を含む）

※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

また、複数枚ご応募いただいた場合は1件とさせていただきます。

厳正な抽選の上、当選発表につきましては当選者へのご連絡（2月上旬発送予定）をもって代えさせていただきます。

その際、当日の運営等詳細を併せてご連絡いたします。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

※ご見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程度工場内をお歩きいただくこともございますのでご了承ください。

※ご高齢の方のご参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。また、未就学児の方のご参加はご遠慮いただいております。



郵便はがき

62円切手

1088215

三菱重工業(株)
IR・SR室SRグループ
工場見学会係行

東京都港区港南
一丁目16番5号

あて名面

- 郵便番号
- 住所
- 氏名
（ふりがなをご記入ください。）
- 電話番号
- 性別
- 年齢
- 同伴者の住所、氏名（ふりがな）
電話番号、性別、年齢

裏面

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 IR・SR室 SRグループ

電話番号：03-6716-3111（大代表）※2019年1月からは、03-6275-6200に変更となります。

8：30～17：30（土・日、祝日、当社休日を除く）

株主メモ

- 決算期……………3月31日
- 定時株主総会……………開催期 6月下旬
- 基準日……………定時株主総会議決権行使株主確定日
3月31日
期末配当金支払株主確定日
3月31日
中間配当金支払株主確定日
9月30日
その他の基準日
上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議により
あらかじめ公告して設定
- 単元株式数……………100株
- 公告方法……………電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
※電子公告掲載ウェブサイト
<https://www.mhi.com/jp>
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
……………三菱UFJ信託銀行株式会社
- 上記連絡先……………東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先及び電話照会先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
電話番号 0120-232-711 (通話料無料)

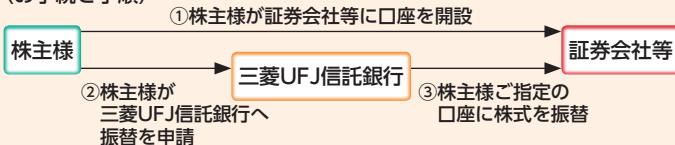
1. 株式に関する各種手続き

- 株式に関する各種手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求等）は、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録されている株式（証券会社等の口座に振替手続きがお済みでない株式）に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先（郵便物送付先及び電話照会先）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。

【ご注意】

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。特別口座から証券会社等の口座への振替のお手続きにつきましても、三菱UFJ信託銀行で承ります。

（お手続き手順）



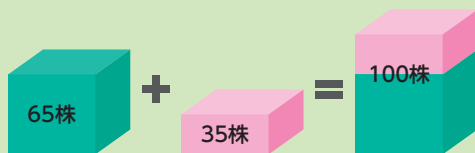
2. 単元未満（100株未満）株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式はそのままでは株式市場で売買できませんが、株主様は、当社に対して買取（株主様ご売却）あるいは買増し（株主様ご購入）をご請求いただけます。お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（上記1.（1）及び（2）ご参照）にお問い合わせください。なお、買取請求、買増請求の手数料は無料となっております。

①買取制度：ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

②買増制度：ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（100株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入（買増し）いただく制度です。

（具体例）株主様が現在65株をご所有の場合、当社を通じて35株をご購入いただき、合計100株とすることができます。



3. マイナンバーに関するご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きのため、株主様から、口座を開設されている証券会社等にお届いただく必要があります。なお、この届出の期限は2018年12月末までとなっておりますのでご注意ください。本お届出等に関するご不明点等は、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

ホームページ「IR情報」はこちらから、
<https://www.mhi.com/jp/finance/>

<表紙> トリニダード・トバゴ共和国 ラ・ブレア ユニオン工業団地
メタノール（年間生産量100万トン）、ジメチルエーテル（年間生産量2万トン）
製造プラント

三菱重工業株式会社

